

あいちの印刷

1

2008.1
No.434



御嶽山

もくじ

巻頭言 “必要とされる”印刷会社を目指し そのための意見交換を重ねて前進しよう / 愛知県印刷工業組合理事長 白井紘一	11
平成19年度12月期理事会・支部長会	12
「第39回技能五輪国際大会」	14
(社)日本印刷産業連合会 シール・グラフィック・スクリーン/ガイドラインを発行	15
身近な催し物のお知らせ	15
「BCP(緊急時企業存続計画)」の取り組み	16
TOPICS 「年賀状印刷」への郵便局参入に “危機感”	19
新刊本紹介	19
愛知県印刷工業組合後援・展示会の案内	20
事務局だより	20

巻頭言

“必要とされる”印刷会社を目指し そのための意見交換を重ねて前進しよう

愛知県印刷工業組合理事長 白井 紘一

新年、明けましておめでとうございます。

情報産業の一翼を担う我々印刷業にとって、Webや携帯モバイルの進化がビジネスに少なからず影響を与えていることは、今さら申し上げるまでもありません。最近では、様々な印刷物に二次元バーコードが刷り込まれ、テレビでも「続きはWebで」というフレーズのCMが増えるなど、双方向的な広告宣伝が目立ちます。

全日本印刷工業組合連合会は「業態変革推進プラン - 2008計画 -」で、自社のサービスを見直し、必要に応じて変えていくことを訴えてきました。それは取りも直さず、消費者の購買動向が大きく変化した中で、商品の売り方を変えていかなければいけないお客様を支援していくために、我々印刷業が何をすべきか真剣に考えなければならない時代が到来したことを意味しています。“必要とされる”印刷会社になるために、我々は知恵を絞り、より効果的な販促の仕掛けを考えていくことが求められます。そこには冒頭に申し上げた様々な情報媒体を連動させるクロスメディアのほか、マーケティングリサーチや配送など印刷工程の前後に絡む付帯サービスもあります。更に、昨年9月のIGAS2007において、UV印刷など高付加価値印刷の提案がなされましたが、そうした特殊な印

刷技術に特化することも一つの道と言えます。

我々は、お客様企業のためにワンストップサービスができる業種です。また、いろいろな業種のお客様企業とお付き合いができる業種でもあります。知恵を絞るのに企業規模の大小は関係ありません。また、決して大きな取り組みが求められるわけでもありません。「お客様企業から、社会から必要とされるために」をベースに考えれば、いくらでもビジネスの可能性はあるのではないのでしょうか。

そして、そのための情報収集の場として、ぜひ組合を活用していただきたいと思います。組合では、マーケティング、経営革新のほか、様々な経営課題に対応した勉強会を行っています。積極的にご参加いただき、情報収集のためのアンテナを張り巡らせていただくことで、必ずや良いヒントが生まれると考えます。社会は今後目まぐるしく変化していくことが予想されます。“必要とされる”印刷会社を目指すための意見交換を重ねながら、ともに進んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、皆様この一年の更なるご繁栄を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



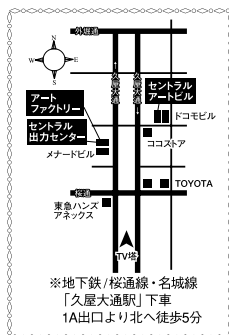
東海地区最大級!!

画材・額縁
絵画・ギャラリー

セントラル画材株式会社

名古屋市中区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル
代表 tel 052-951-8998 fax 052-951-8997

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



CENTRAL
必ず貴方の仕事の力になります



- CENTRAL GROUP**
- (株)セントラルグラフィックセンター / 営業部
名古屋市中区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル5階
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-950-4456
 - セントラル 出力センター
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階
Tel: 052-953-9628 Fax: 052-951-2641
DTP出力・大型カラー出力(ポスター・屋外対応プリント他)
 - (株)セントラル画材(株) / 企画営業部
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
 - セントラル アートファクトリー
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993
フレーム加工・看板制作等
 - セントラル フレームセンター
名古屋市中区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル3階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518
額縁・松崎コレクション・フレーム・額縁販売
 - セントラル アートギャラリー
名古屋市中区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル4階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516



平成19年度12月期理事会・支部長会

今後の事業日程を決定し 各支部の活動状況も報告

平成19年12月5日(水)午後3時より、平成19年度12月期理事会・支部長会が28名の出席により、キャスルプラザで開かれました。

白井絏一理事長の挨拶で始まり、同理事長が議長を務め、議案の審議が進められました。以下、その内容の要旨です。

1) 組合員加入・脱退の件

今回の理事会においては、新規組合員として(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス中部工場(豊田支部)の加入が承認され、加入累積8、脱退累積5、組合員総数346(平成19年度期首343)であることが報告されました。

2) 平成19年度決算見込み

村瀬誠専務理事が平成19年度の決算見込を説明し、承認されました。

3) 平成20・21年度役員候補者選出の件

役員推薦委員会委員として、白井理事長、高井昭弘副理事長、鈴木正博副理事長、木野瀬吉孝副理事長、細井俊男副理事長、木下隆司理事、富田尚志理事、猪飼重太郎理事、水谷康男理事、吉川正敏理事、神藤俊郎理事の11名が選任されました。

4) 賛助会員の件

理事会で承認されましたので、今後は総代会に上

程され、そちらで承認を得るという流れになります。

5) 今後の行事予定

平成20年 印刷と関連業界新年互礼会

期日：平成20年1月11日(金)、会場：名古屋東急ホテル、スケジュール：午後3時30分/講演会(講師は浅野健全印工連会長)、5時30分/互礼会

第44回光文堂新春機材展

後援：愛知県印刷工業組合、期日：1月25日(金)・26日(土)、会場：名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)

第2回技能検定実技試験会場認定工場募集

有効期間を2年に変更(現在は1年)し、今後は隔年で実施することになります。

教育セミナー

期日：2月2日(土)、演題：「資材の正しい知識と使い方(仮題)」、会場：ナディアパーク6Fセミナールーム2

2月期理事会

期日：2月19日(火)、会場：愛知県印刷会館

平成19年度中部地区印刷協議会下期会議

期日：2月22日(土)、会場：キャスルプラザ

愛知県印刷産業団体連絡会平成19年度講習会

日時：2月25日(月)午後1時30分、会場：名古屋グー

デンパレス、テーマ：「震災にあっても、すぐに事業を再開するために～事業計画(BCP)の取組みの紹介～」

6) 委員会報告

報告の中では、特に官公需対策について、担当する木野瀬副理事長が「愛知県から各市町村に電子入札のための実験をせよとの指示が出ております。いよいよ、各市町村がすべて電子入札を取り入れるという段階になってきました。電子入札になる前に、我々印刷業側が積算基準などを発注側にきちんとレクチャーしておかなければなりませんので、対策を講じていく必要があります。すでに電子入札が行われている県では、完全に値崩れした状況です。官公庁の仕事を手掛けておられない皆様方にも関心をもって取り組んでいただきたいと思います」と呼びかけました。

7) 支部活動状況報告

支部長会に移り、次のように報告しました。

西尾支部

西尾支部は何とか継続し、皆大変に喜んでおります。西尾支部の活動としては、地区組合との合同パーベキュー大会、西尾商工会議所50周年イベント参加、新年互礼会、総会、見学会、研修旅行などを行いました。

豊橋支部

支部再編により豊川、新城支部と合併することになり、その調整も支部費と積立金を調整する段階に至っています。

小牧・春日井支部

11月1日に支部会を開催し、連絡事項、活動内容の報告、情報交換を行い、親睦会も開きました。

東北支部

約20名が出席して7月25日に事業継承セミナーを開催しました。11月10日・11日に1泊研修会を12名

が参加して行いました。1月9日に東北支部の互礼会を開催します。

中川支部

平成19年は6回会合を開きました。1月に新年会、3月・6月・7月に例会を行い、9月は1人1台のパソコンを使ったデジタルブックの勉強会と例会を開催しました。12月には忘年会を予定しています。支部員は15社で、出席者は10名前後です。

熱田支部

熱田支部は2か月に1回、支部会を開催しています。今年も6回を完了しました。先週も12名の参加で支部会を開きました。所属は17社ですので、出席率はまあまあ割合かと思えます。支部会で内容のある話も聞けます。率直な話もできますし、ありがたいと思えます。

岡崎支部

岡崎支部は4月6日の総会で決めた事業計画を順調に遂行しております。支部員は24名で例会には毎回20名前後の組合員が出席します。7月に1泊で親睦旅行を行ったほか、23日には、太極拳講座を聞き実技も習い、非常に楽しく例会を開催することができました。9月には西三河の支部合同で懇親会を開きました。10月12日の例会はメタボリックシンドロームの講演を聴講しました。10月21日には、愛印工組の合同レクリエーションに22名が参加しました。1月18日に新年会を開きます。2月22日の例会は電子入札の勉強をすることになっています。

安城支部

組合員数が少ないので、年4回ほど情報交換と懇親会を行っています。年明けには新年会を開く予定です。

中支部

中支部は4月に1泊研修旅行を行いました。参加

オンデマンド 伝票革命 1冊から作ります

せっかくのご注文を断っていませんか?

20冊未満ならオンデマンドが断然おトク!

各種多色刷、複写伝票類

- 刷色/墨1色、カラーもOK
- 2〜3複写・単式OK
- 1枚目、2枚目、3枚目の色違い(※)
- 角印(朱刷)・ロゴ(カラー)
- ナンバーリングOK!
- 宛先住所(※)・印字(10冊)
- 20冊まで受注可能
- 弊社指定用紙となります
- (用紙は上質紙は55g、厚紙50、両面色)
- データの保存はいたしません

※見合わせで、難度高い商品は印刷できない場合があります。

複写伝票の小ロット需要はまだまだ眠っています。当社伝票受注、月間1,000件中の35%が10冊未満です。

特徴

特徴① ご発注はメールで

- 完全データで受付

特徴② 小ロット歓迎

- 1冊〜20冊

特徴③ 低価格

- 多色刷伝票に最適

特徴④ 短納期

- 特急便は午前中、メール受注で翌日発送

印刷サンプルをお届けします。

オンデマンド品質をご自身の目で確かめください。

オフセット伝票も3冊から! 激安!

身近な印刷からセキュリティまでオンデマンドに対応

マツモト印刷株式会社

〒453-0856 名古屋市中村区並木1-301
TEL : 052-411-4863 FAX : 052-413-0648

オンデマンド伝票受付専用アドレス : d-119@printing.co.jp

KONICA MINOLTA

プロフェッショナル新潮流デジタル化によるスキルレス時代の到来

プリンターの生産性と低コスト

A4/51枚
1分当り

[生産性] A4フルカラーを最大51枚(A4)/分
A4フルカラーが最大51枚/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。

多種用紙対応

[低コスト] 近似した再現性と多彩な用紙での出力
画像・文字再現に忠実なカラーブルーフが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。

A3 Wide

[実用性] A4トンボ付を2面付の出力サイズ
印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。

ブルーナーの実用性と再現力

重合法トナー

[再現性] 高い画像・文字品質を実現
一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。



Pagemaster Pro

ハイクオリティカラーレーザーブルーナー

本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 / TEL: 03-5297-5602(代)
 名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F / TEL: 052-231-6277(代)

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社

- 12 -

- 13 -

「第39回技能五輪国際大会」
印刷競技で、日本代表の鈴木さんは「敢闘賞」

世界各国の22歳以下の若い世代の技術者が一堂に集まり、世界のトップを目指して技能を競う「第39回技能五輪国際大会」（主催＝財団法人2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会、御手洗富士夫会長）が、11月14日から21日の日程で静岡県沼津市で開催されました。

「印刷」は今大会から正式種目に採用され、日本代表の鈴木康弘さん（21歳、凸版印刷㈱生産・技術・研究本部モノづくりセンター）は惜しくもメダルを逃しましたが、敢闘賞を受賞しました。

今回挑戦したのは、日本、スイス、フィンランド、フランス、ニュージーランド、スウェーデン、オランダ、デンマーク、ドイツの9カ国。

競技は、「印刷」「断裁」「測定」「インキ調合」の4つの項目で審査が行われ、印刷機の設定や色の調子合わせのテクニック、紙の種類を見極める品質変動の予測・事前設計する技能などが求められました。また、印刷物の課題は、片面4色カラー印刷（ポスター）、表面4色カラー印刷＋裏面1色の両面印刷（ポストカード）、片面2色＋特色1色＋ニス（カレンダー）の3点。印刷機は、ハイデル菊半裁4色機「プリントマスターPM-74-4」を使用し、それぞれ違った用紙に印刷が行われました。

金メダルはフランス（男性）が獲得。銀はスイス（女性）、銅はニュージーランド（男性）。

者は15名でした。8月に25～26名の参加を得て、納涼会を開き、情報交換し親睦も深めました。新年会は1月の末くらいに予定しています。新年会は、約30名が参加されますので、思い切って盛大に開催する予定です。

刈谷・知立支部

会合には決まったメンバーしか参加されないのでは、悩んでいます。何とか参加されるように引っ張って

いこうと考えています。平成20年度・21年度に向け、西三河支部として形になるように、安城の方々とともに進めていきます。

東南支部

年に3回の活動をしております。6月28日に総会を開催しました。参加者は19名でした。9月29日・30日に10名が参加して1泊研修会を行いました。1月の後半に新年会を予定しています。

豊川支部

現在、支部合併に向けての調整を行っています。新年会は豊橋支部と一緒にを行う予定です。

知多支部

12月に忘年例会を開きました。4名の方が新たに社長に就任されましたので、それをお祝いする会を兼ねています。1月16日に紙に関する勉強会を開く予定です。1月28日に新年例会を開催し、2月後半から3月の頭にかけて1泊研修会、3月に例会を開く予定です。悩みとしては、出席されない方もおられますので、そういう方とぜひ交流したいと思っております。

中村支部

年間3回、支部会を開催しています。毎年、6月に総会、9月に研修旅行、2月に新年会というパターンです。出席率は高く、また、これまで欠席が非常に多かった組合員も参加されるようになりました。しかし、逆に脱退もあり、期待しつつ、反面では不安もあります。

8) 愛知県印刷協同組合12月期理事会

支部長会終了後は、愛知県印刷協同組合の理事会が開かれました。議事では、定款変更と組合員確定の件が審議され、定款変更は総会に上程することを承認、組合員確定は第三者（弁護士）に相談して速やかに進めることを決定しました。

(社)日本印刷産業連合会

シール・グラビア・スクリーン
ガイドラインを発行

日本印刷産業連合会（山口政廣会長）は、この程、シール、グラビア（軟包装）、スクリーン各印刷サービスの『グリーン基準ガイドライン（2007年改訂版）』を発行した。

シール、グラビア、スクリーンの印刷にもグリーンプリンティング認定

制度を拡充したこととともない、各印刷サービスのグリーン基準（2007年改訂版）と、GP工場認定申請とを解説している。

環境問題に対する社会的認識の高まりとともに、グリーン購入法、第三者機関によるグリーン購入の各基準、環境マネジメントシステムの導入など、環境に配慮した事業活動に対する社会的要請はますます強まっており、印刷産業界においても、環境に配慮した製品づくりが求められている。特に民間企業では、サプライチェーンの一環として、環境に配慮した印刷発注の基準を定めるなどの動きがでてきている。

日印産連・環境委員会では、グリーン購入検討会を中心に、業界あげて環境型経済社会の構築に向けた取り組みを行うため、業界自らの指針として、2001年8月の『日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準』制定を皮切りに、2003年3月にはシール、グラビア（軟包装）、スクリーンの各印刷サービスグリーン基準を制定し、普及に努めてきた。

「シール、グラビア（軟包装）、スクリーン印刷サービス」の各グリーン基準については、制定から4年以上が経過し、VOC 排出抑制の要請など、印刷産業界を取り巻く社会的変化、また、印刷産業自身の環境問題への取り組みの進展など、社会情勢、技術動向などが大きく変化していることから、グリーン基準の改訂を行い、合わせて各基準に基づくグリーンプリンティング認定を実施することになった。

同ガイドラインは、印刷及び印刷関連各企業が同グリーン基準に示した内容について正しく理解し、運用することを目的に作成。グリーンプリンティング工場認定申請のための手引書を兼ね備えたものとなっている。



身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考
(平成20年) 2月2日(土) 10:00 ~ 16:30	事業・行事 教育・労務委員会セミナー メーカー・代理店から見た印刷業界の現状とこれから～印刷屋では気付かない印刷業界～ 場所 ナディアパーク セミナールーム2 詳細についてはホームページをご覧ください、事務局へお尋ね下さい。
2月4日(火) 19:00 ~ 20:30 (予定)	事業・行事 印刷寺子屋 テーマ「印刷業界の人材育成」*CVMを絡めたソリューション営業と営業の教育について 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 講師:伊藤直行氏 富士ゼロックス㈱ 販売本部 サービス営業推進室 教育長 ・参加料無料 ・定員20名 ・問い合わせ、申し込みは事務局まで
2月19日(火) 15:30 ~	事業・行事 理事会 場所 印刷会館 3階 会議室
2月22日(金)	事業・行事 中部地区印刷協議会 下期会議 場所 キャッスルプラザ
2月16日(土) ~ 3月2日(日)	事業・行事 印刷営業講座 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 2月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、3月1日(土)、2日(日) ・土曜日=13:00~18:00 ・日曜日=10:00~16:00 ・受講料:愛知県印刷工業組合 組合員一人22,050円 一般一人 35,000円 *受付は締め切りました。
3月8日(土) 10:00 ~ 16:00	事業・行事 印刷営業技能審査認定試験 場所 ウィルあいち 大会議室 ・10:00~10:30=注意事項、説明等 ・10:30~11:30=知識試験 ・12:30~16:00=見積技能試験 ・受験料:12,600円

身近な催し物のお知らせ（愛印産連関連）

開催日時	事業・行事、場所、備考
(平成20年) 2月25日(月) 13:30 ~ 16:00	事業・行事 平成19年度講習会「震災にあっても、すぐに事業を再開するために～事業継続計画(BCP)の取り組み紹介～」 場所 名古屋ガーデンパレス2階「鼓の間」 講師:池田浩啓氏 富士常葉大学環境防災学部 ・大学院 環境防災研究科教授 講師:市川 岳氏 ㈱損保ジャパン・リスクマネジメント BCM事業本部 主任コンサルタント 定員100名 参加費2,000円
2月16日(土) 13:00 ~ 16:50	事業・行事 (社)日本印刷学会セミナー「平成20年度冬季印刷技術セミナー 印刷の品質管理と新技術の動向」 場所 愛知県産業貿易館 西館9階「第2会議室」 辻村博見氏 ㈱モリサワ 松久 剛氏 大日本スクリーン製造㈱ 杉野秀巳氏 富士フイルムグラフィックスシステムズ㈱

SCREEN MEDIA TECHNOLOGY **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新のコアテクノロジーでCTPをサポートするインテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応 インテリジェントRIP
Trueflow

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

四六半裁判対応 サーマルプレートレコーダー
PlateRite4300

四六全判判対応 サーマルプレートレコーダー
PlateRite8600

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
本 店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジー カンパニー <http://www.screen.co.jp/>
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上4丁目

「BCP(緊急時企業存続計画)」の取り組み

中小企業の災害対策

「災害は忘れたことにやって来る」。これは、随筆家であり物理学者の寺田寅彦の言葉です。対策を十分に行っていないと来ないものが災害ですが、しかし、油断していると不意にきて、慌ててしまうことの多いのも過去の例から伺えます。災害は来ないに越したことはないのですが、やはり日頃の準備というものが大切になります。

昨年、名古屋商工会議所・産業新興部では、企業の防災計画・防災マニュアル事例を収録した「製造業のための地震防災対策事例集」を発行しました。

この事例集は、中小企業における防災対策の推進、並びに、緊急時企業存続計画(BCP)に役立ててもらおうことを目的に、甚大な被害が予想される東海・東南海地震に対する建物設備への防災対策や、災害発生時の社員・顧客への連絡体制など、実際に対策に取り組んでいる企業の具体的な対策事例を取りまとめた冊子です。

冊子発行にともない、事例集活用セミナーが開催されました。席上、事例集発行の周知徹底を図るとともに、事例集の監修者である愛知工業大学地域防災研究センター長・正木和明教授と事例掲載企業の榎丸和印刷(鳥原久資社長)CSR推進室・大井康司室長が、それぞれの立場から講演を行いました。

監修者の立場で講演に立った正木教授は、「企業防災のポイント」をテーマに、愛知県が想定している地震と確立論的地震予測地図を示し、全国的にも愛知の危険性は高いと指摘。その上で、防災対策を推進する3つの段階(企業防災の必要性を認識する、自社の問題点を抽出する、解決策を実施する

る/BCPの実践)をあげ、BCPの導入と取り組み方法などを解説しました。また、事例掲載企業の立場で講演に立った大井室長は、「弊社の地震防災対策/中小企業の防災対策責任者の取り組み」をテーマに話を進めました。この中で大井室長は、同社が防災対策に取り組むきっかけになった点に触れ、「ISO規格を取得するときシステムの要求事項があった」「身近に天災を受けた企業があった」ことなどを指摘。その上で、防災対策策定の準備として、(地震セミナーへの参加、手順書・マニュアルの作成と社員への周知、訓練の計画と実施、緊急連絡・緊急対応の計画と実施)をあげ、準備段階で管理者として頭を痛めたこと、防災管理やBCPを行う上で大切なことを、具体例とともに解説しました。

では、どのような災害対策が取られているのか、その一部を紹介してみることになります。

・復旧の方針/「災害緊急手順書」の緊急対応組織により創業の復旧を行う。現在考えているリスクとしては、制作データ、在データ(顧客から繰り返し発注のある制作データ)、設備(印刷機・CTP機)、その他。印刷業は、もとなる版(データ)が無事だった場合、協力会社で商品を作ることができるため、定期的にこれらのバックアップデータを遠隔または耐震・耐火の場所に保存する。

・災害関連の財務的な対策/財務に関するデータ(会計・給与・販売)を定期的にバックアップし、耐震・耐火の場所に保管している。銀行帳・手形帳・金銭出納帳なども同様に保管している。有事には社員などが持ち出しできるように管理している。

・取引先との協力体制/当社事業に関する会社

「地震防災対策事例集」

「BCP 取り組み事例集」から防災対策を探る

とBCPに従って協力体制を結ぶ。また、県外の同業者とも相互支援の体制をお願いしている。取引先には、同社のデータ保護、バックアップ体制について告知し、理解を促している。地震対策、行政の施策について日常から情報の収集に努めている。

以上が、同社の災害時における事業・業務の継続・早期復旧に関する取り組みの方針です。

「防災対策に企業が取り組むことで、社員の企業に対する評価は上がると思われる。とかく大手だからできると考えがちだったが、今後は、我々中小企業も積極的に取り組む必要があるのではないかと。月並みであるが、まず『小さな一歩』から踏み出されることが必要と考える」と指摘されています。

BCP(緊急時企業存続計画)とは!

災害対策への取り組みを解説した「中小企業に求められる災害対策の取り組み/BCP取り組み事例集」と題した小冊子が、中小企業庁・創造連携推進課経営安定対策室から刊行されています。この冊子は、

新潟県中越地震の被害、BCPとは、取り組み事例紹介、などから構成されており、組合を利用したBCP取り組み事例の中で、神奈川県印刷工業組合(株三光堂印刷、(有)佐藤オフセット印刷)を紹介しています。これは、より効率的にBCPを策定・運用するため、組合活動を利用したBCP取り組み事例の具体例として取り上げているものです。

聞き慣れないBCPの言葉の解説と、災害への取り組みについて、ポイントを抽出し紹介してみます。

冒頭、「あなたの会社が、大地震や津波などで被災した場合、経営者であるあなたは、何を優先して普及に取り組みますか?」との問いかけがされてい



ます。皆さんでしたらどう答えますか -。

「多くの経営者は、『従業員の安全を確保したい』『顧客の信用を確保したい』『事業を早期に復旧したい』などと答えるでしょう。このような多くの経営者の源泉をたどると、『会社を存続させたい』とい一つの思いがあるはず」と指摘し、「従業員や建物を守ることを目的としているこれまでの災害対策に加え、緊急時に『会社を存続させたい』という経営者の思いに基づいて、事前に被災後の復旧対策を検討し、その結果を取りまとめた計画を、BCP(緊急時企業存続計画)と言います」と説明しています。

更に、「大規模な地震が発生し、企業が被災した場合に、その企業が『従業員と連絡を取り合う手段を確保する』『代替生産先を確保する』、更には、『復旧資金の調達手段を確保する』などの対策を迅速に取ることの難しさは、過去の事例をみると明らかです。また、緊急時には、平常時とは異なる多くの判断が、経営者に求められることとなります。経営基盤が脆弱な中小企業の場合、災害時における一つの判断ミスが、経営に大きな影響を与え、場合によっては、事業の縮小や廃業に追い込まれる可能性もあります。そのため、平常時から『被災時に事業をどのように早く普及させるのか?』、『そのため

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色
印刷機

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすること、お客様の満足をお約束します

Sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所 〒451-0084 名古屋市中区上郷2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

紙をクリエイトする

Kamix®

紙のことなら何でも
ご相談ください。

最新の価値ある情報を
常に提供いたします。

03年2月 ISO14001認証取得
04年5月 CoC森林認証取得
04年6月 名古屋市エコ事業所認定

O.K 大河内紙業株式会社

本社 名古屋市中区栄一丁目25-35 TEL.052-220-5511
FAX.052-220-5522

東京営業所 東京都中央区日本橋本石町4-5-3 TEL.03-3242-5561
物流センター 愛知県小牧市下小針中島1-78 TEL.0568-41-5581

U.R.L. <http://www.kamix.co.jp> / E-mail: info@kamix.co.jp

TOPICS

「年賀状印刷」への 郵便局参入に“危機感”

中小印刷企業における年末恒例の事業といえば年賀状印刷がある。ところが昨年、郵政民営化にともない郵便局が年賀状印刷に参入した。これにより、昨年の年賀状商戦は少し違った色合いを帯びていた。特に、地方の印刷企業は強い危機感をつのらせ、郵政民営化が“民業圧迫”だとの声までおきている。

民営化で飛足した郵便局は、昨年10月15日から全国の郵便局で年賀状サービスを開始した。これは、イラスト入りのお年玉年賀はがき(79種類)に、住所、名入れを行い、自宅まで届けるというものである。更に危惧すべきことに、コクヨなど民間企業が、郵便局内に印刷ショップを開設する動きを見せている点である。印刷サービスの対象が、年賀状のみに留まらない様相を呈している。

こうした郵便局の動きに対して、業界内には強い反発も生じ、署名運動や断固反対を訴える抗議行動を起こすべきだ、とする意見すらある。

いち早く行動を起こした(社)日本グラフィックサービス工業会では、郵便局会社と意見交換を行い、その内容を踏まえ、同社に業界としての見解書を提出した(昨年11月28日)。

見解書では、「郵政民営化に伴い、年賀状印刷及び郵便局内印刷ショップ開設などを通じた印刷受注を開始したことについて、当工業会では中小印刷業の経営を圧迫する大きな問題と受け止めている」とした上で、「貴社の印刷業進出については、郵便局窓口という公社時代の遺産を継承した有利な営業展開は、公平な競争原理を欠いたものではないか、民営化後の急な印刷営業展開は中小印刷業にとって過当競争への不安と恐怖感を抱かせるものであり、十分に時間を掛けた業界理解への配慮があつてしかるべきではないか、印刷業務委託先の選定にあたっては、地域活性化への配慮から、地域印刷業との業務提携も検討されるべきではないか。これらの点から、貴社の急速な印刷業進出とその展開の様子は規制緩和、郵政民営化とはいえ、理解しがたい状況にある」としている。更に、「郵政民営化以前の公社時代、

全国の中小印刷業は年賀状の売り上げ拡大に貢献してきた。今後も全国の中小印刷業は郵便局とは良好な関係、そしてパートナーシップを保ち続け、共存共栄の道を歩んでいきたい所存である。中小印刷業界の窮状をご理解賜り、是非共、適切なお対応を賜りますようお願い申し上げます」と結んでいる。

これに対して、郵便局会社側からは、「できるだけ業界に配慮する」「来年以降、今後の展開について考えを伝え、印刷業界からも企画の提案などの意見を求めるようにしたい」との回答を得ている。

電子メールの普及で郵便物が減少し、また、配達業務もヤマトなどの参入で押され気味な点を考えても、今後、郵便局の新サービスとして、年賀状のみにとどまらず印刷業務も含めた幅広い分野において、競合がおきることは避けられない状況のようである。

新刊本紹介

本書は、急速に普及が進み、新市場拡大の担い手として注目されているデジタル印刷システム、技術に焦点を絞った内容で、デジタル印刷システムの最新動向を解説している。デジタル印刷の市場動向、デジタル印刷の潜在需要、デジタル印刷の生産システム、デジタル印刷の成功事例などで構成。体裁/A4判68頁、中綴じ製本。定

価/1,000円(税込み)。
発行/ニュープリンティング㈱/
TEL03(3264)2054。



に何を準備し、取り決めたりしておくのか?』などの対策や手段を検討し、自社にとって中核となる重要な事項の早期復旧計画を検討しておく必要があります」と警鐘し、そして、「このような計画がBCPであり、企業は平常時からBCPを策定・運用することで“災害に強い企業”となることができます」と、BCP取り組みへの必要性を述べています。

では、このようなBCPを策定するには、どのようなプロセスを踏めばいいの、具体的な説明をみていきます。

中小企業庁の「中小企業BCP策定運用指針」では、顧客からの信用を守る、従業員の雇用を守る、地域経済の活力を守る、の3点を基本方針の目的としてあげています。

更に、PCB策定のポイントについて、次の5項目をあげています。

中核事業の特定 = 災害などにより企業が大きな被害を受けた場合、早期に全ての事業を復旧もしくは継続することは難しくなります。そのため取引先との関係や製品種別ごとの売上高などから、企業が存続するための中核となる事業を特定します。

目標復旧時間の設定 = 地震や台風などの被災時に中核事業がどの程度被害を受けるのかを分析し、中核事業の復旧目標を計画していくことになります。普及の目標時間を設定することで、復旧時に適切なスケジュールで行動することができます。

取引先との認識の共通化 = 緊急時に企業が存続するためには、取引先からの協力が不可欠な場合があります。このため、あらかじめ取引先と中核事業や目標復旧時間などについて、認識を共通化し、

緊急時のための連携方法などを検討しておきます。

事業拠点、調達先などの代替え策用意 = 地震や台風などの被災時に事務所が使えなくなった場合、原材料の調達ができなくなった場合、また、情報システムが使えなくなった場合などを考え、あらかじめ、代替え調達先やデータのバックアップなどを用意しておきます。

全従業員への周知 = BCPの運用は全ての従業員が対象になり、実際の緊急時には従業員の行動が計画の成否を左右します。全ての従業員とBCPの方針・内容についてコミュニケーションを図っておくことが大切です。

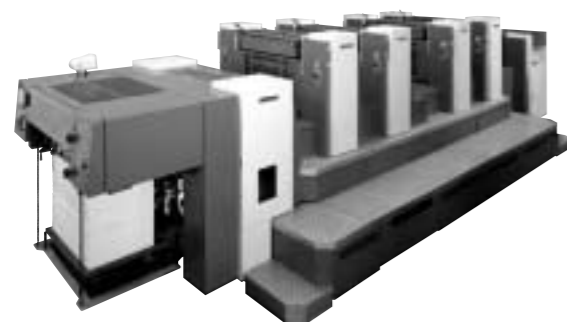
策定されたBCPについては、BCPは、企業全体を含めた計画であり、その策定・運用は経営課題の一つになることから、「経営者だけではなく、各事業部門の代表者に参加してもらうことが望まれる」としています。更に、一度策定すれば良いものではなく、従業員の教育・訓練を行ったり、定期的に計画を見直したり、継続的に改善することが大切」とも述べています。

誌面の都合で、割愛しての紹介になりましたが、更に具体的な内容を知りたい場合は、下記までご連絡下さい。

・製造業のための地震防災対策事例集 / 発行: 名古屋商工会議所(名古屋市中区栄2-10-19 TEL052-223-8602 FAX052-232-5752)

・中小企業に求められる災害対策の取り組み・BCP取り組み事例集 / 発行: 中小企業庁(東京都千代田区霞が関1-3-1 TEL03-3501-1511 相談ホットライン0570-00911)

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA
75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒420-0813 静岡県長沼596番地
TEL(054)261-2141 FAX(054)262-6279
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA
1919

いま動き出すプロ用 Windows DTP
PROX ELWIN
プロックス エルウィン

- WindowsNT の採用により取り組み易い操作環境を提供
- 多様な展開が図れ、PDF ファイルへの変換が可能
- PS フォントと TrueType フォントの高解像度出力を実現
- 当社製 PS RIP「ExpressRIP-M」との接続に加えて、多様な他社 RIP への接続対応を順次実施

株式会社 **モトヤ**
〒461-0035 名古屋市東区黒門町128
☎(052)935-5315 代 FAX(052)935-5338

愛知県印刷工業組合 後援・展示会の案内

第44回光文堂新春機材展 「“X”に挑め。」をテーマに!

中部地区における印刷関連機材展として、また、業界の新春恒例行事としても定着した感のある、印刷機材の総合商社(株)光文堂が主催する「2008エクセレントプリンティングフェア」第44回光文堂新春機材展が、今年も1月25日(金)、1月26日(土)の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)において開催される。今回のメインテーマは「“X”に挑め。(未知数の可能性に挑戦し続ける)」

中部地区最大のスケール

新春のスタートにふさわしく、印刷関連業者と機材業者の新年恒例会としての役割をもつこの機材展も、今年で44回目を迎えた。機材展では、昨今のデジタル化の急速な進展にあわせ、出品機種もこれら最先端技術を採用した数々の新鋭機が公開される運びである。今回出品するメーカー、ディーラーは70社以上にのぼり、第44回を迎えた展示会として、新春にふさわしい内容と規模で展開される。また、今回の新春機材展では、「コラボレーション展」が併催される。今、印刷業界では「共創ネットワーク」

が大きなキーワードとなり、この取り組みが全国の印刷業界で盛んに行われている。コラボレーション展を参考に、今後のネットワーク作りやビジネスチャンスの拡大に役立つよう、新たに提案される。

新春一番の機材展は最先端の印刷関連技術が吸収できる催しとして、大きな期待が寄せられている。

新鋭機の披露

主催する光文堂からの新製品を紹介してみる。昨年のIGASで初公開さ

れた環境対応ペーパーリング製本機「KBD エコループ」、情報漏洩を防ぐ「KBD プレートシュレッダー」、電子ブックアプリケーション「KBD デジタルブック」、印刷ユニットを使用し箔印刷を可能にした「インライン箔印刷装置」、シール・ラベル業界向け「合理化装置」が披露される。また、既設商品として好評を得ている各種機資材も出展され、賑いを見せる。

是非、お出掛け下さい。

新春機材展併設セミナー
光文堂新春機材展開催日に、下記のセミナーが併設される。

< 1月25日(金) >

11:00~12:30 / [最新インクジェットプリンタ活用事例と新規ビジネス] 講師: (株)ミマキエンジニアリング販売促進部/山田恭弘部長

14:00~15:30 / [PODビジネスの提案] 講師: キヤノンマーケティングジャパン(株)プロダクションシステムセンター/中野周行課長

< 1月26日(土) >

10:00~11:30 [UV印刷機ってどんな会社に向くの?] 講師: (株)小森コーポレーション営業技術部営業技術課/中村裕一課長

14:00~15:30 [小ロット印刷におけるデジタル印刷機の役割とデジタル印刷機Truepress344のユーザー事例紹介] 講師: (株)メディアテクノロジー・ジャパン・メディアテクノロジーカンパニー製造統括部/吉田巧副部長

場所: 中小企業振興会館4階第2会議室

事務局だより

*明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

*今年、十二支で最初の干支、子(鼠)年です。それだけに、良いスタートを切りたいものです。新年といえば、新年の祝賀に食べる雑煮があります。もとは、煮雑(ほうぞう)にまぜといい、煮雑から雑煮に転じたといわれ、元旦に雑煮で祝う風習は室町時代に既にあったそうです。雑煮の食べ方は地方で独特のものがあります。

例えば、関西では、丸餅に里芋、大根などを入れ、関東では、切り餅を焼いて鶏肉や蒲鉾、青菜を入れます。また、北陸では鱈(ぶり)、北海道では鮭(さけ)を入れます。皆さん方の食卓では、どのような具が入った雑煮がでてくるのでしょうか。勿論、味付けにも独特のものがあるのでしょうか。

*1月はどなたも公私にわたり新年会などが多くあると思います。各組合などの新年会も目白押しです。食べ過ぎ、飲み過ぎに気を付け、体調管理だけは怠らないようにしたいものです。

「あいちの印刷」

No.434

平成20年1月10日発行

発行人 白井 紘一
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
TEL 052 962-5771(代表)
FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

